

◆ 年間登録メンバー募集のご案内 ◆

2019 年度

60<sup>th</sup>  
CHUBU INDUSTRIAL  
ENGINEERING  
ASSOCIATION

# 生産現場改善研究部会

## たゆまぬ改善活動による現場力強化

～知恵は無限、改善は永遠～

2019  
5/14

- 1 生産物流研究部会
- 2 生産システム研究部会
- 3 モノづくり人材育成研究部会
- 4 モノづくり競争力研究部会

2020  
1/31

- 5 生産現場改善研究部会
- 6 葦クラブ研究部会

### 登録メンバー特典

2020年 1月 14日 (火)

現場長のための問題解決力セミナー

# 2019年度 生産現場改善研究部会

現在IoTやAIなど、モノづくり現場において、ビッグデータを活用し、現場を改善する動きが活発になってきている。しかしながら、それらの情報を価値に結びつける事が出来るのも、我々が知恵と工夫を織り交ぜ、日々愚直に積み重ねてきた改善活動から得た強い現場が有るからである。当部会では徹底的なムダ排除へ、こだわりを持って改善活動を実践している業種業態の異なる生産現場を訪問し、改善の着眼点・発想法のポイント、また新たなテクノロジーを活用した現場改善の取組みなどを学び、これからの現場力の強化について考察する。是非とも、ご参加・ご登録をお願い申し上げます。

年間テーマ

## たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～ 知恵は無限、改善は永遠 ～

第1例会

と き	2019年 5月14日(火)・15日(水) 13:30～17:00	【主な生産品目】 戸建住宅部材、集合住宅部材 建築系鉄骨部材
と ころ	大和ハウス工業(株) 奈良工場 (奈良県奈良市)	

### 「IoT活用による「見える化」(D's FEMS)の取組み」

～ 温室効果ガス削減とリスク低減について ～

大和ハウス工業(株) 奈良工場 工場長 尾崎 学 氏

大和ハウス工業では、独自のFEMSである“D's FEMS”を開発し、エネルギーだけでなく、工場運営に必要な防災、労務環境、生産データを含めて“見える化”を実施。リアルタイムのデータを大型タッチモニターで工場全体に共有することで、経営層から現場管理者まで様々な“気づき”を与え、改善活動を促進させている。更にD's FEMSを商品化し、環境配慮型工場のアイテムとしてお客様へ提案している。今回はこれまでの運用事例や改善事例についてご紹介いただく。

第2例会

と き	2019年 7月 1日(月)・2日(火) 13:30～17:00	【主な生産品目】 自動車用ガラス
と ころ	AGC(株) 愛知工場 (愛知県知多郡)	

### 「どんな環境変化にも対応できる強い拠点づくり」

～ 設備中心型ラインで改善活動を通して実現した固有技術と管理技術の融合 ～

AGC(株) I E プロフェッショナル 篠田 正行 氏

AGCは、板ガラス、自動車用ガラス、化学品の製造工程など設備中心型のモノづくりである。設備中心型では固有技術が強く、以前は管理技術者(I E r)がほとんど居ない状態であった。漢方薬型改善戦略、全員参加のしくみ、設備で成果をだす改善技術など6本を柱とする10年に渡る改善活動を継続することで、現在ではI E rが約1500名となり固有技術と管理技術が融合しシナジーが生まれている。今回はその具体的な取組みについてご紹介いただく。

第3例会

と き	2019年 8月29日(木)・30日(金) 13:30～17:00	【主な生産品目】 フォークリフト等産業車両
と ころ	(株)豊田自動織機 高浜工場 (愛知県高浜市)	

### 「KD部品の調達から梱包、海外拠点まで工程入ル-の最適供給をめざして」

～ 停滞を減らし流れをつくる ～

(株)豊田自動織機 高浜工場 副工場長製造部長 富田 博 氏

豊田自動織機高浜工場は、世界シェアでNo.1の実績を誇るフォークリフトや自動倉庫・無人搬送車といった物流機器の開発・生産を行っている。フォークリフト用KD部品の増産対応として、工場内に複雑に分散していたKD工程を一つの工場に集約し、集約することで見えてきた問題点を海外工場までスルーで停滞を減らし、工程の流れ化をして、リードタイム短縮と効率化した。今回はその具体的な事例をご紹介いただく。

■ 当部会の企画・運営におけるご協力をお願いしております。 (順不同)

太平洋工業(株) プレス・樹脂事業部 部長 生産管理部 部長 山田雅之氏  
 大同メタル工業(株) 技術ユニット 研究開発センター チーフ 丹羽貴裕氏  
 (株)東海理化 生産調査部 企画・教育室 室長 伊藤保広氏  
 トヨタ車体(株) 生産調査部 主査 上田智博氏  
 (株)豊田自動織機 生技・生産本部 生産管理部 生産調査室 改善支援第2グループ 组长 巖 泰氏  
 日本特殊陶業(株) ファシリティエンジニアリング本部 設備部 設備3課 副課長 兼 工機部 工機1課 前田和彦氏



▲ 写真はグループディスカッション風景  
 ※ グループディスカッションでは、参加者が小グループに分かれて相互意見交流会を行います。

基本スケジュール 13:30~17:00

- ① 会社概要説明・テーマのプレゼンテーション ② 工場(現場)見学  
 ③ グループディスカッション ④ 発表・質疑応答

第4例会

と き	2019年10月15日(火)	13:30~17:00	【主な生産品目】 CX-3、CX-5、CX-8 ロードスター、ボンゴパン 等
と ころ	マツダ(株) 本社工場	(広島県安芸郡)	

## 「ストレート生産の実現に向けて」

～ めざす姿に向けた全員参加の取組み ～

マツダ(株) 本社工場 担当部長 竹爪 浩二 氏

マツダ本社工場では、ストレート生産、すなわち、生産に関わる人・モノ・設備・情報・お金と言う“5つの流れ”が、お客様の価値や期待にストレートに同期して流れている状態をめざす姿として、実現ために、全員参加の改善活動に取り組んでいる。今回はその具体的な取組みについて、考え方や事例を交えてご紹介いただく。

第5例会

と き	2019年12月18日(水)・19日(木)	13:30~17:00	【主な生産品目】 積層信号灯 緊急車両回転灯 等
と ころ	(株)パトライト 三田工場	(兵庫県三田市)	

## 「生産現場の可視化による現場改善の加速」

～ ロスの顕在化で無限の現場力向上 ～

(株)パトライト 生産本部 三田生産部部長 橋木 昭一 氏

パトライトは自社製品を利用して積層信号灯組立現場にIoTを採用。稼働時間に締める作業していない時間の割合を大幅に改善した。光と音を使い稼働状態を「知らせる」信号灯を、「記録」するシステムへ進化させ、チョコ停や段取り時間を詳しく分析し、即座に改善につなげている。ビッグデータではなく、少ないデータをすばやく利用する事で現場改善の加速化を推進している。今回はその具体的な取組みについてご紹介いただく。

第6例会

と き	2020年1月30日(木)・31日(金)	13:30~17:00	【主な生産品目】 自動車用内装表皮材 等
と ころ	共和レザー(株) 天竜第二工場	(静岡県浜松市)	

## 「素材生産に適したしくみ追求とサラサラ流れる工程づくり」

～ ものづくりと人の意識の変革 ～

共和レザー(株) 生産改革部 生産調査グループ 组长 村尾 和晃 氏

共和レザーでは、もともと靴などの雑貨用品に使われる合皮を主力製品としてきたが、自動車メインシート材に採用されたことで受注量が3倍に急増、納期遅延が常態化した。これを解消するためTPS思想に基づく改善を実施、リードタイムに着目し、ものの流れを整流化、工程間の停滞をなくす仕組みを整備。作業ミスにより発生する不具合や材料ロス低減にも取り組んだ結果、納期遅延を解消するとともに品質は向上、原価も低減でき、製造現場の文化をも変えることができた。今回はその具体的な取組みについてご紹介いただく。

# 開催要領

## 参加対象

IE、生産技術、生産管理、製造部門、改善推進スタッフ 等

## 運営方法

- 1) 当研究部会では、各例会を2グループに分けてご案内いたします。※第4例会は1グループで開催
- 2) 集合場所・時間等の詳細案内を開催の約1カ月前に登録メンバーへEメールにてご案内しますので、都度、ご出欠をご返信ください。なお、同じ組織であれば、登録者以外(代理)の参加も可能です。
- 3) 各例会とも指定の集合場所・時間に各自でご集合下さい。**現地集合・現地解散**
- 4) 視察先の都合により、同業者の方々のご参加をお断りする場合があります。その際は、他の例会への振替参加(+1名)をご案内いたします。**止むを得ない理由により、開催日時の変更が発生する場合があります**のでご了承願います。
- 5) 各例会とも、**録音・写真撮影はご遠慮願います**。
- 6) 年間の運営ガイダンスは第1例会の際に行います。

## 年間登録費

中部IE協会会員 ..... 81,000円  
一般 ..... 118,800円

(1名につき、資料代・消費税(8%)を含む)

- 1) 年間登録費については、申込受付の後、請求書を送付させていただきますので、**5月13日(月)**迄に下記の指定銀行へお振り込み願います。なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますので、ご了承願います。
- 2) 年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義: 中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店 普通 No.1602917	名古屋銀行上前津支店 当座 No.3116141
愛知銀行本店営業部 当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店 当座 No. 494070
中京銀行本店営業部 当座 No. 112438	

- 3) **5月7日(火)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねます。(ご登録者の変更をお願いいたします)  
(途中からのご参加も可能でございます。)

## 申込締切日

**2019年 5月 7日(火)**

登録申込書に必要事項をご記入の上、FAX 又は 郵送にてご送付願います。  
(途中からのご参加も可能でございます。)

## メンバー特典

当研究部会の登録特典として、1名に限り、下記の講座へ**会員価格の半額**でご参加いただけます。詳細は個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

**2020年1月14日(火) 現場長のための問題解決力セミナー(28,600円→14,300円 消費税10%含む)**

### ※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申しいただけますようお願いいたします。
2. お申し込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。【個人情報に関する問い合わせ窓口 担当: 齋藤・岩本 TEL052-221-1261】

## お申込み・問合わせ先

### 中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)  
TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265  
<https://www.cpc.or.jp> 担当: 広瀬・堀部

## 2019年度 生産現場改善研究部会[第5部会] 登録申込書

&lt;フリガナ&gt;

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書の送付は不要です。)

1	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
2	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
3	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				
4	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
	住所	〒	TEL	( ) -
			FAX	( ) -
E-mail				

※ E-mailにて例会案内をお送りいたしますので必ずメールアドレスのご記入をお願いいたします。

 請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み 請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日( )]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(81,000円・118,800円) [消費税含む] × □ = 円

(事務局記入)

請求 / No.202019

第1部会

**生産物流研究部会**

**全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～**

モノと情報の流れをスムーズにすることで、ネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結び付いた事例ならびに現場訪問を通して、モノづくりにおける全体最適物流について考察する。

第2部会

**生産システム研究部会**

**リードタイムの短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～**

リードタイム短縮を基軸として、フレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例ならびに現場訪問を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて考察する。

第3部会

**モノづくり人材育成研究部会**

**日本のモノづくりを支える人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～**

モノづくりの技能、生産技術、製造技術等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例ならびに現場訪問を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について考察する。

第4部会

**モノづくり競争力研究部会**

**新たなモノづくりへのチャレンジ！ ～競争力を高めるモノづくり力とイノベーション～**

自社の強みを見極め、これまで培ってきた現場力・技術力をさらにレベルアップさせると共に、イノベーションによる新たな価値創造へのモノづくりに挑戦し続けて事例ならびに現場訪問を通して、競争力の本質について考察する。

第5部会

**生産現場改善研究部会**

**たゆまぬ改善活動による現場力強化 ～知恵は無限、改善は永遠～**

徹底的なムダ排除に向け、こだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場の事例ならびに現場訪問を通して、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、これからの現場力の強化について考察する。

第6部会

**葦クラブ研究部会**

**挑戦の先に自ら創り出す 未来のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～**

第一線で飽くなき挑戦を続ける方々から、その熱き想いと最新の事例を伺う事を通じ、モノづくりに係わる経営者の人間観、経営観の研鑽をはかる。